

子どもは私たちの未来です

国むけ署名、府むけ署名
両方にご協力ください。

大阪府議会議長 様

30人学級の早期実現、 私学助成の削減撤回・大幅増額等

すべての子どもたちに ゆきとどいた教育を求める

請 願 署 名

日本の未来を担う一人ひとりの子どもたちに、確かな学力と成長・発達を保障することは、府民の心からの願いです。そしてそれを実現するために教育条件を整備することは府の責務です。

今年度から、府立高校の授業料と空調使用料は不徴収、私立高校についても年収350万円未満の世帯の授業料が無償化されました。これは長年の府民の願いにそったもので大きな前進です。

しかし府は一方で教育予算を削減し続け、2010年度では過去最低となりました。公立高校においては授業料が無償化されたとはいえ、平均約21万円（初年度）の学校諸経費がかかります。私学においても授業料等が無償となる家庭は2割にも届いていません。さらに府が検討している「財政構造改革プラン」では、私学に対する経常費助成の削減を継続し、その上、私立小中学校の経常費助成を大幅に削減する計画です。これがすすめば一方で授業料の無償化枠の拡大を進めながら、授業料そのものは値上げされるという矛盾がますます大きくなってしまいます。府の姿勢は、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を保障してほしいという府民の願いに反するものです。

また教育に欠かせない正規教職員が配置されず、学級担任などの業務も講師など臨時教職員で補充しなければ学校運営がなりたないなど、「大阪維新プログラム」による教育予算の大幅削減は、すべての学校で教育諸条件の低下を生み出しています。それは貧困と格差の広がりともあいまって、子どもたちの教育を受ける権利、教育の機会均等の原則を踏みにじるものです。

府は、教育予算を大幅に増額し、正規教職員の大幅増員、30人以下学級の早期実現、私学助成の大幅増額など、子どもたちに手厚い手だてをとってください。

憲法を守り、生かし、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を実現するため、裏面の各事項のすみやかな実現を請願します。

請願団体

大阪府立高校30人学級をすすめる会	06-6768-2106
大阪市立高校30人学級をすすめる会	06-6947-1101
大阪の障害児教育をよくする会	06-6765-8904
大阪私学助成をすすめる会	06-6762-5026
子どもと教育・文化を守る大阪府民会議	06-6768-2330

衆議院議長 様

参議院議長 様

30人学級の早期実現、 私学助成の削減撤回・大幅増額等

すべての子どもたちに ゆきとどいた教育を求める

請 願 署 名

日本の未来を担う一人ひとりの子どもたちに、確かな学力と成長・発達を保障することは、国民の心からの願いです。

長引く不況と、貧困・格差の広がりは、家庭だけでなく、子どもたちの生活にも大きな影響を与えています。また子どもたちの教育を受ける条件は大幅に悪化し、その機会が奪われる事態も起こっています。今年度から公立高校の授業料が無償化され、私立高校等へも就学支援金が支給されるなど教育費無償化への第一歩が実現しました。しかし、従前から授業料免除を受けていた家庭では、特定扶養控除が縮小されることで、増税になる世帯が生じます。また、授業料が無償化されても、まだまだ多額の学校納付金が必要です。「高校生の修学保障のための調査」によると、公立高校の授業料以外の初年度の学校諸経費で約21万円の負担がかかります。私学においても授業料等がほぼ無償となる家庭は2割にも届いていません。

また7月、中央教育審議会は小中学校の学級編制基準を現行の40人から引き下げることを提言しました。特別支援学校・学級、高等学校については引き下げを見送っています。また一方、国では「地域主権改革」と称して学級定員を各都道府県に任せようとする動きがあります。今こそ国の責任で30人学級を実現することを求める運動が大切になっています。

国は、義務教育費国庫負担制度・私学助成国庫補助制度の堅持・拡充をはじめ、教育予算を大幅に増やし、少人数学級など教育諸条件を抜本的に改善し、教育の機会均等を保障してください。国連から批判されている「国際人権規約 中等・高等教育の漸進的無償化条項」の留保を撤回し、無償化への計画を示し、実行してください。

憲法を守り、生かし、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を実現するため、裏面の各事項のすみやかな実現を請願します。

請願団体

大阪府立高校30人学級をすすめる会	06-6768-2106
大阪市立高校30人学級をすすめる会	06-6947-1101
大阪の障害児教育をよくする会	06-6765-8904
子どもと教育・文化を守る大阪府民会議	06-6768-2330